令和５年度仙台市太白障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け事業
「ウォーキングサッカー体験教室」を開催しました

令和６年１月２０日
仙台市太白障害者福祉センター

去る、令和６年１月２０日（土）に「ウォーキングサッカー体験教室」を開催しました。

今回の教室では７名の参加があり、講師としてベガルタ仙台のスクールコーチの小瀬川様にご協力いただきました。

最初、小瀬川様の方から、ベガルタ仙台で取り組んでいる、インクルーシブスポーツキャラバンについての説明がありました。インクルーシブスポーツキャラバンは当事者と障害者が同じ空間で一緒に楽しむという事を重要にしている事や、当事者が運営側に一緒に立ちながら、支援学校の生徒等に向けてとにかく一緒に楽しむという事をサッカーを通じて実現していく事の話がありました。

後半は、実際にウォーキングサッカー体験をしました。ウォーキングサッカーは、「走らない」「ボールを奪わない」「ヘディングしない」「強いシュートはしない」という、基本ルールを踏まえて、参加する人によって更に自由にルールを追加変更してもいいインクルーシブスポーツです。３世代が一緒にピッチに立ち、緩めのルールの中ゲーム性のあるスポーツであす。今回は片麻痺、視覚障害者、高次脳機能障害者が同時にプレーする事が出来ました。ボールも自由なので、今回はブラインドサッカー用のボールを使用し、様々な配慮の中、最後はゴール後に皆でハイタッチしながら、サッカーを楽しむ事が出来ていました。

参加された方からは、「時間が短かった。楽しかった。またやりたい。」などの感想をいただくことができました。

今後も参加された方が楽しく、また、自宅から地域に参加するきっかけとなるような講座を企画していきたいと思います。